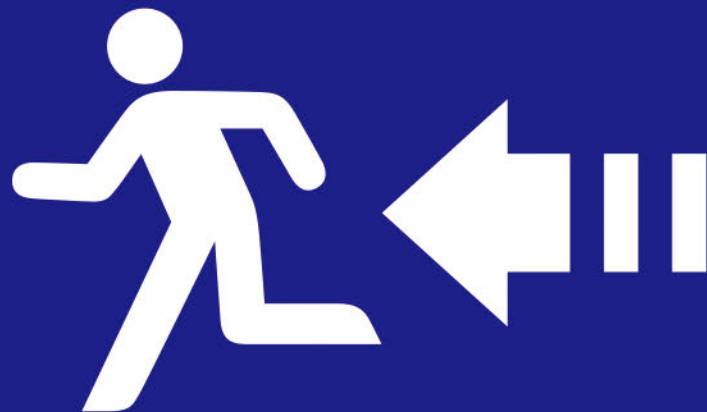


高槻市

水害・土砂災害
ハザードマップ

早
め
の
避
難
を
！



2021 改訂版
(2024 一部更新)

改訂版について

近年、度重なる集中豪雨等により、全国各地で甚大な浸水被害が発生しており、大阪府は、令和2年3月に「想定し得る最大規模の降雨を想定した洪水浸水想定区域」を公表しました。また、令和3年5月には、災害対策基本法が改正され、避難情報が変更されました。

高槻市では、これらの情報等を反映させるために「水害・土砂災害ハザードマップ」の改訂版を作成しました。

なお、主な改訂点は以下のとおりです。

《令和3年の主な改訂点》

	改定内容	該当箇所
①	外水はん濫の浸水区域、浸水深を更新	33～88ページ (外水はん濫)
②	家屋倒壊等はん濫想定区域(はん濫流・河岸侵食)を明示	33～88ページ (外水はん濫)
③	土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域の指定区域を時点修正	52、56、58ページ (土砂災害)
④	開設する緊急避難場所等の見直し	21～26ページ
⑤	避難情報の変更	9～10ページ等
⑥	マイタイムライン作成ページを追加	89～90ページ

《令和6年の主な更新箇所》

	更新内容	該当箇所
①	安威川洪水浸水想定区域の見直しに伴い、外水はん濫の浸水区域、浸水深、家屋倒壊等はん濫想定区域(はん濫流・河岸侵食)を更新	33～40、43～46、51～54、79～82ページ(外水はん濫)
②	土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域の指定区域を時点修正	56、58、60、66、68、70、72、76ページ (土砂災害)

目次

	ページ
この冊子の使い方	1～2
マイマップを作ろう	3
水害について知っておこう	4～6
土砂災害について知っておこう	7～8
災害時の情報について	9～12
避難する際に知っておくべきこと	13～15
水害に備える	16～18
避難行動の目安	19～20
緊急避難場所・避難所	21～24
避難情報発令対象地域	25～26
ハザードマップ索引図	27～32
水害・土砂災害ハザードマップ	33～86
内水はん濫 外水はん濫(対象河川:芥川・女瀬川・檜尾川・安威川・水無瀬川) 土砂災害	
水害ハザードマップ	87～88
外水はん濫(対象河川:淀川)	
マイタイムラインを作ろう	89
マイタイムライン	90
非常持出品リスト	91

いざというとき、このような情報に注意

警戒レベル5 緊急安全確保 → 命の危険 直ちに安全確保!

警戒レベル4までに必ず避難!

避難情報

警戒レベル4 避難指示 → 危険な場所から全員避難

警戒レベル3 高齢者等避難 → 危険な場所から高齢者等は避難

詳しくは9, 13, 19～26ページ →

この冊子の使い方

ステップ1 災害を知る 水害・土砂災害の種類を知っておこう

水害

内水はん濫

外水はん濫

→ 4 ページ

土砂災害

かけ崩れ
(急傾斜地の崩壊)

土石流

地すべり

→ 7 ページ

ステップ2 危険性の確認 自宅周辺で予測される災害の危険性を確かめよう

新名神高速道路以南にお住まいの方

内水はん濫 外水はん濫

→ マップ 33 ~ 50 ページ

内水はん濫 外水はん濫 土砂災害

→ マップ 51 ~ 72 ページ

新名神高速道路

新名神高速道路以北にお住まいの方

外水はん濫 土砂災害

→ マップ 73 ~ 86 ページ

外水はん濫 (淀川)

→ マップ 87 ~ 88 ページ

→ マップ索引図は 27 ~ 32 ページ

ステップ3 情報入手先の確認 災害や避難に関する情報の入手方法を確認しておこう

内水はん濫	■ 気象情報	→ 10 ~ 12 ページ
外水はん濫	■ 気象情報 ■ 河川水位情報 ■ 市からの避難情報	→ 9 ~ 12 ページ
土砂災害	■ 気象情報 ■ 土砂災害警戒情報 ■ 市からの避難情報	→ 8 ~ 12 ページ

ステップ4 避難行動の確認 災害時どのような行動をとるべきか確かめよう

→ 避難行動の目安は 19, 20 ページ

内水はん濫	外水はん濫	土砂災害
<p>屋内安全確保</p> <p>想定浸水高さ</p> <p>→ 13 ページ</p>	<p>避難場所等への早めの避難 (立退き避難)</p>	
	<p>立退き避難</p> <p>→ 13 ページ</p>	<p>緊急安全確保</p> <p>→ 8・13 ページ</p>

逃げ遅れた場合は…

- 家の2階以上へ(がけと反対側)
- それも困難なら
- がけから離れた部屋へ

ステップ5 マイマップを作る ハザードマップに避難先や避難経路を書き込もう

- マイマップの作り方 3 ページ
- マップ 33 ~ 88 ページ
- 添付の「マイマップシール」をご利用ください



ステップ6 マイタイムラインを作る 「いつ、何をするのか」を整理しておこう

- マイタイムラインの作り方 89 ページ
- マイタイムライン 90 ページ



マイマップを作ろう

災害に対しては日頃からの備えが重要です。各家庭や地域で次のようなことを確認し、避難場所や避難経路等はマップに記入しておきましょう。

ステップ 1 あなたの家はどこですか？

まず、ハザードマップであなたの家を探して、予測されている被害の有無・程度(土砂災害の区域や浸水範囲に入っているか、浸水深は何mか、など)を確認し、自宅シールを貼りましょう。

ステップ 2 あなたの避難先はどこですか？

次に、目標とする避難先を確認して、避難所シールを貼り、避難先までの経路を考えてみましょう。浸水範囲や土砂災害区域にかかる道路や橋、地下道、狭い道路は避けるコースを設定しましょう。

ステップ 3 実際に避難経路を歩いてみよう

家族みんなで避難先まで歩いてみましょう。ハザードマップを持って危険なところなどをチェックしながら歩き、安全で避難しやすい経路や所要時間を確認しましょう。

ステップ 4 ハザードマップに書き込もう

安全に避難先まで行けるよう、わが家の避難地図(マイマップ)をつくりましょう。記入例を参考に、ステップ③で調べたことを書き込んで、一番安全な経路を確認しましょう。

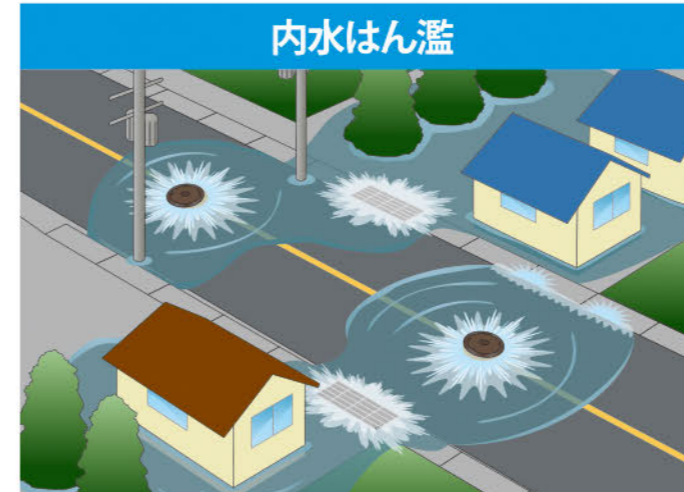


添付のマイマップシールを貼って、より分かりやすくしよう!

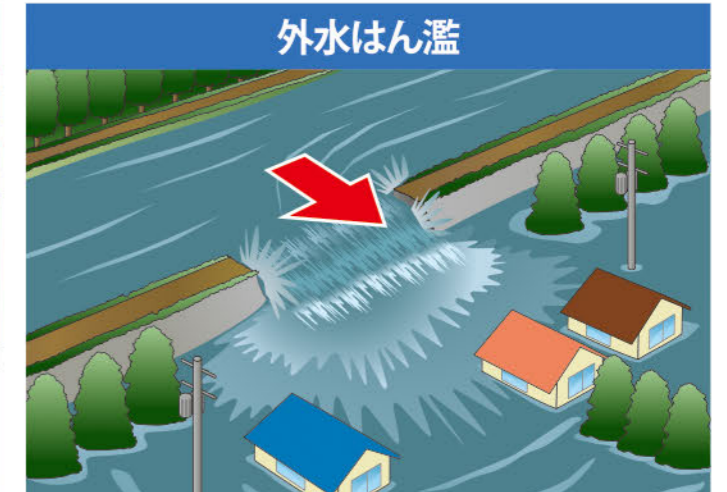
- 災害が起こったときに避難する場所(緊急避難場所・避難所)や、避難経路や避けるべき場所(危険箇所)などを家族で話し合おう。
- 話し合いの結果をもとに、巻末に付いているマイマップシールを使って「わが家のハザードマップ(マイマップ)」を作成しよう。

水害について知っておこう

内水はん濫と外水はん濫



短時間に集中して降る豪雨等により、水路や下水道の排水能力を超えたり、河川の水位上昇により十分に排水できなくなると、マンホールや側溝から雨水があふれ、住宅地や道路などが冠水します。



長時間雨が激しく降ると、河川の増水により堤防が壊れたり、堤防から水があふれ出して浸水します。また、その付近で雨が降っていないくても、上流で降っていれば、河川が増水し、同様に浸水する危険性があります。

家屋倒壊等はん濫想定区域

これらの区域では確実に
早めの立退き避難をしてください

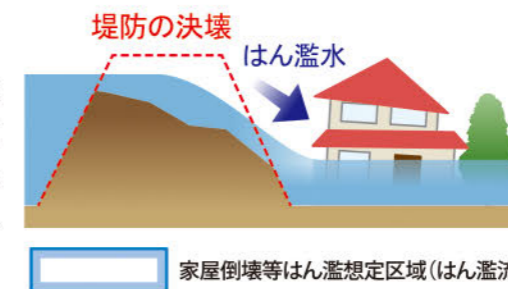
家屋倒壊等はん濫想定区域
(はん濫流)

家屋倒壊等はん濫想定区域
(河岸侵食)

洪水時にははん濫流や河岸侵食により、家屋の倒壊・流失をもたらすような激しい流れが発生するおそれがある、堤防沿いの地域を「家屋倒壊等はん濫想定区域」としています。これらの区域では、自宅等が倒壊するおそれがあることから、浸水区域外への立退き避難が必要です。

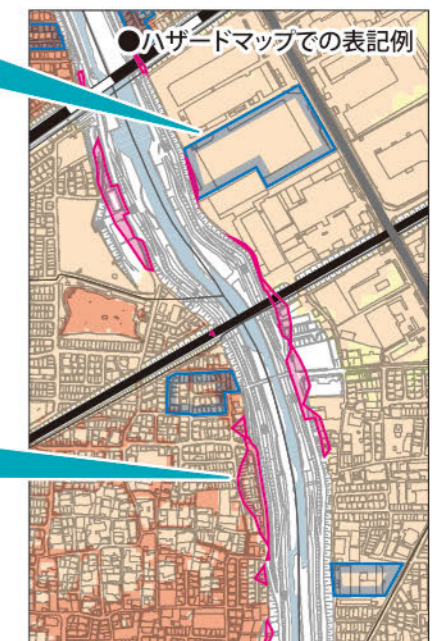
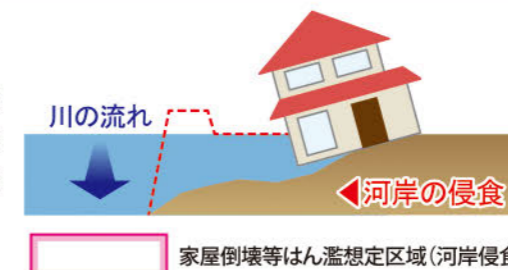
はん濫流とは…

堤防が壊れ、河川から流れ込む水の力により、激しい流れが起きることを「はん濫流」といいます。はん濫流により、一般的な木造住宅が、倒壊・流失するおそれがあります。



河岸侵食とは…

川の流れにより河岸が削られる現象を「河岸侵食」といいます。河岸侵食により、侵食範囲にある家屋が倒壊するおそれがあります。

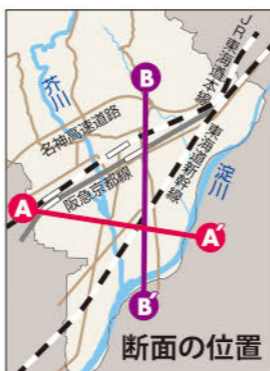


水害について知っておこう

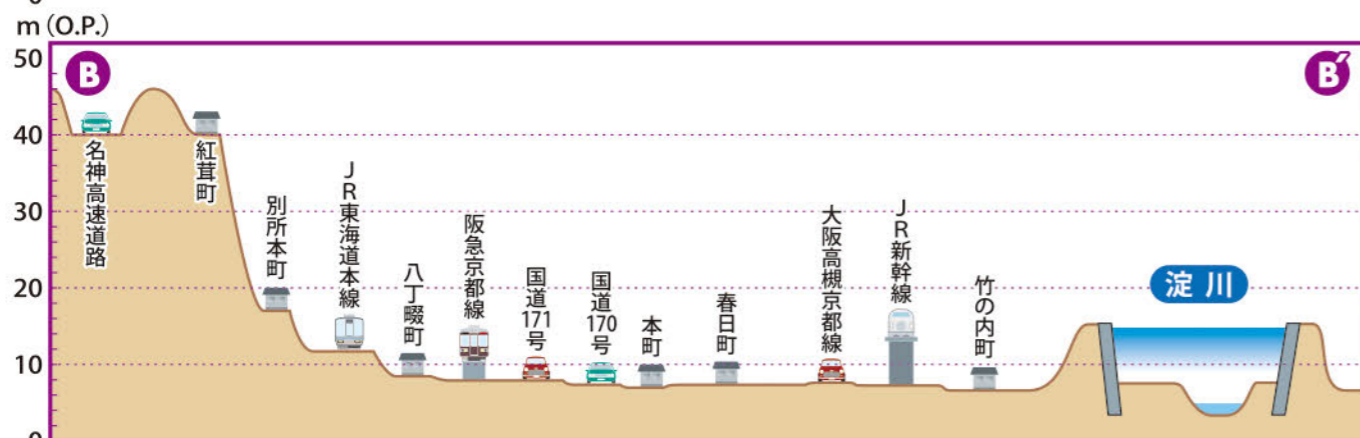
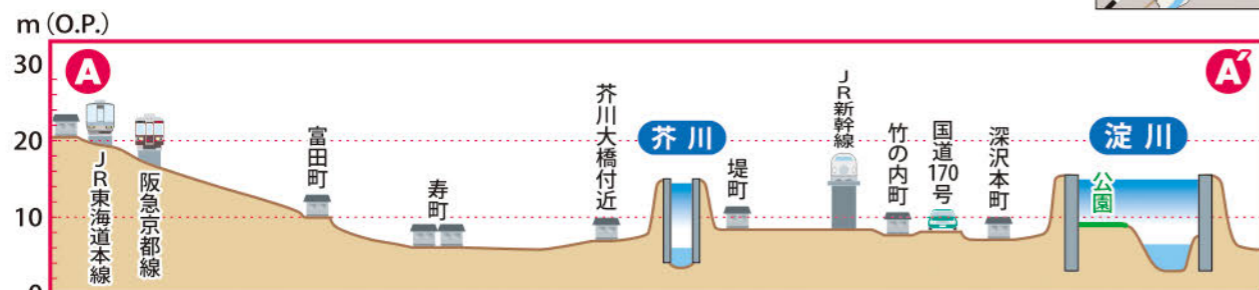
高槻市の地形と標高

高槻市の地形は、名神高速道路より南側は、平野部に市街地が広がっています。市内平野部を流れる河川は天井川（住んでいる場所よりも川底の方が高い河川）となっているところもあり、水害の危険性が高くなっています。

JR東海道本線より南側の平野は、各河川の堤防高より低いため、はん濫時には大きな被害になる危険性があります。



断面の位置



※高さの基準は「O.P.(大阪湾最低潮位)」

雨が降ってなくても洪水は起きる

淀川流域図

高槻市付近を流れる淀川は、桂川、木津川、そして琵琶湖を水源に持つ宇治川が合流し、1本の河川となって流れています。

そのため、高槻市域より上流で大雨が降った場合、高槻市で雨が降ってなくても、時間が遅れて水位が上昇し、洪水が起こる危険性があります。

- 流域面積 8,240㎢ (西日本最大)
- 流域人口 1,248万人



雨の強さの表現と降り方(1時間雨量)

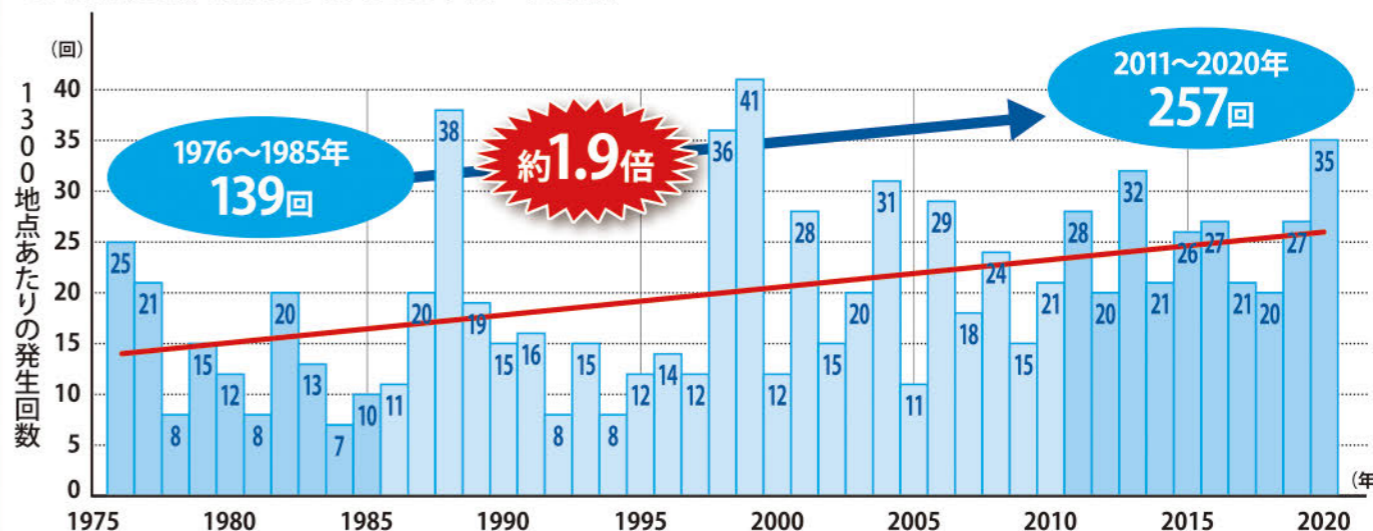
	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
1時間雨量と予報用語	10~20mm未満	20~30mm未満	30~50mm未満	50~80mm未満	80mm以上
人の受けるイメージ	●ザーザーと降る。	●どしゃ降り。	●バケツをひっくり返したように降る。	●滝のように降る。(ゴーゴーと降り続く)	●息苦しくなるような圧迫感がある。 ●恐怖を感じる。
人への影響と屋外の様子	●地面からはね返りで足元がぬれる。	●傘をさしてもぬれる。 ●車の場合、ワイパーを速くしても見づらい。	●道路が川のようになる。	●傘はまったく役に立たなくなる。 ●水しぶきで、あたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。 ●車の運転は危険。	

※気象庁資料参照

近年の雨の傾向に要注意!!

近年、いわゆるゲリラ豪雨といわれる雨が多発しております。グラフは全国で発生した時間雨量80mmを超える雨の年間発生回数を示したものです。想定を超えるような猛烈な雨が増加傾向にあることがわかり、大規模な浸水被害が発生するおそれがあります。


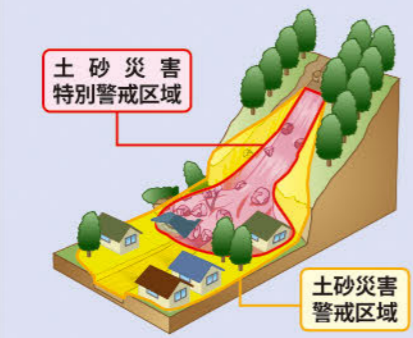
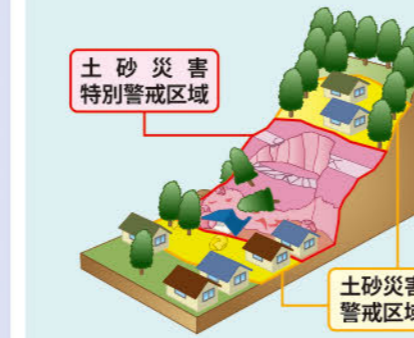
〈アメダス〉1時間降水量80mm以上の年間発生回数 ※気象庁HPより
10年あたり3.0回増加、1976年から2020年のデータを使用



どしゃさいがい し 土砂災害について知っておこう

どしゃさいがい しゅるい ぜんちょうげんしょう 土砂災害の種類と前兆現象

大雨や台風、地震が起きたときには、地盤がゆるみ、がけ崩れや土石流、地すべりといった土砂災害を引き起こす可能性があります。下記のような前兆現象を確認したら速やかに避難してください。

がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)	土石流	地すべり
<p>地中にしみ込んだ水分により、急な斜面が突然崩れ落ちる現象です。突然起きるため、家の付近で起きると逃げ遅れる人も多く、死者の割合も高くなります。</p>  <p>土砂災害特別警戒区域</p> <p>土砂災害警戒区域</p>	<p>長雨や集中豪雨などによって、山や川の石と砂が水と一体となって一気に下流へ押し流される現象です。</p>  <p>土砂災害特別警戒区域</p> <p>土砂災害警戒区域</p>	<p>大雨や長雨等により雨水が地面にしみこみ、水の力によって持ち上げられた地面が広い範囲にわたりゆっくりと動きだすものをいいます。</p>  <p>土砂災害特別警戒区域</p> <p>土砂災害警戒区域</p>

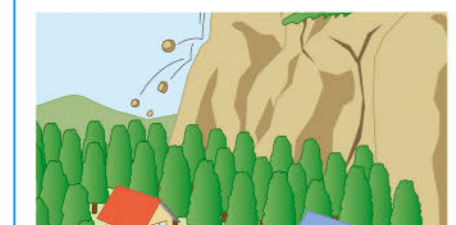
こんな前兆現象に要注意!!



斜面にひび割れができる。

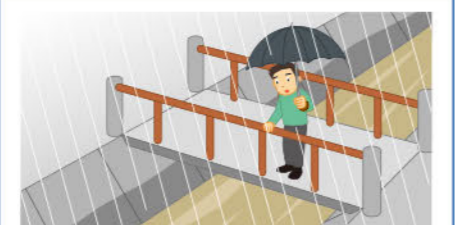


わき水の量が増える。



がけに亀裂が入る。がけから小石が落ちてくる。

こんな前兆現象に要注意!!



雨が降り続けているのに、川の水位が下がる。



地鳴りの音が聞こえてくる。



川が濁ったり、流木が混ざりはじめる。

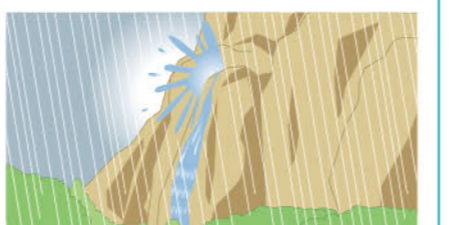
こんな前兆現象に要注意!!



がけから出る水がにごる。



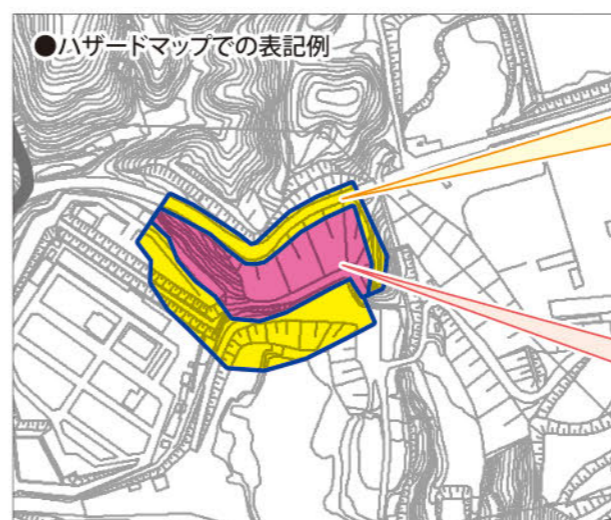
地面にひび割れができる。



斜面から水が噴き出る。

※上記のような現象が前兆現象のすべてではありません。また、前兆現象がない場合でも土砂災害が発生することもあります。

どしゃさいがいけいかい くいき どしゃさいがいとくべつけいかい くいき 土砂災害警戒区域と土砂災害特別警戒区域



土砂災害警戒区域とは…

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域です。

土砂災害特別警戒区域とは…

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域です。

どしゃさいがいけいかいじょうほう 土砂災害警戒情報

詳しくは… [大阪府土砂災害の防災情報](#) 検索

土砂災害警戒情報とは、大雨警報の発表中に、土砂災害発生の危険度が高まったとき、大阪府と大阪管区気象台が共同で発表する情報です。



土砂災害警戒情報が発表されたら、土砂災害に厳重に警戒し、市からの情報を入手して避難してください。

また、土砂災害警戒情報が発表されていなくても、地形や地質の条件により土砂災害が発生するおそれがあるため、その他の防災情報などにも十分注意しながら、避難行動をとってください。

土砂災害時の緊急安全確保

土砂災害では、避難場所等への立退き避難が基本です。土砂災害は突発的に発生することが多く、発生してから避難することは困難です。また、木造住宅を流失・全壊させるほどの破壊力があることから、屋内で身の安全を確保することが出来るとは限りません。逃げ遅れるなどして避難場所等への立退き避難ができない場合は、がけなどの反対側の2階以上や、がけから離れた部屋に移動しましょう。

土砂災害の災害リスクがある区域は、立退き避難が基本!

逃げ遅れるなどして 屋外への移動が困難な場合は…

